



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

はくぶつかん

博物館でバードウォッチング！ 「モズ」と「ミヤマホオジロ」と・・・

まだまだ寒い日々が続いていますが、博物館の周りでは相変わらず小鳥たちが元気です。今年は雪が多かった

ので、山間部から逃れて雪の少ない市街地で見られるケースがあるのかも知れません。



この鋭いくちばし
が特徴です。

「モズ」と言えば「はやにえ（早贄）」。捕まえたカエルや昆虫を枝にさしておくという行動ですが、このあたりを探せば、はやにえが見つかるかも知れません。



「モズ：モズ科」（留鳥または漂鳥）。冬に昆虫などを見つけるのは大変そうです。漢字では「百舌」です。 2/19

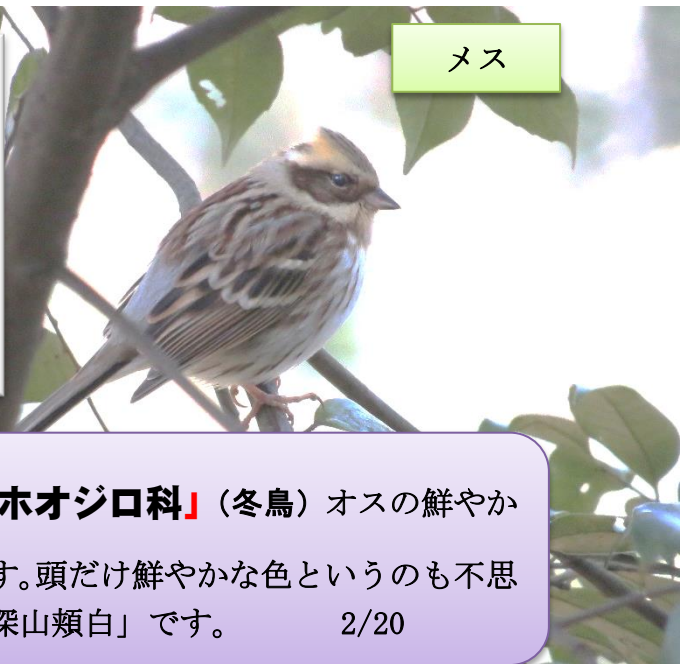


オス



メス

オス



メス

「ミヤマホオジロ：ホオジロ科」（冬鳥）オスの鮮やかな黄色がよく目立ちます。頭だけ鮮やかな色というのも不思議ですね。漢字では「深山類白」です。 2/20



地面を歩く「ミヤマホオジロ」。
どこにいるかわかりますか？



「シロハラ：ツグミ科」（冬鳥）

森の中でカサカサと小さな音がするときは、鳥が歩いていることが多いです。鳥は枝に留まるイメージがありますが、このように地面を歩いている鳥も結構います。 2/20



「メジロ：メジロ科」（留鳥または漂鳥）

博物館周辺でも見られるようになりました。きれいな緑色ですが、オレンジ系の色に見えるものもあります。 2/27